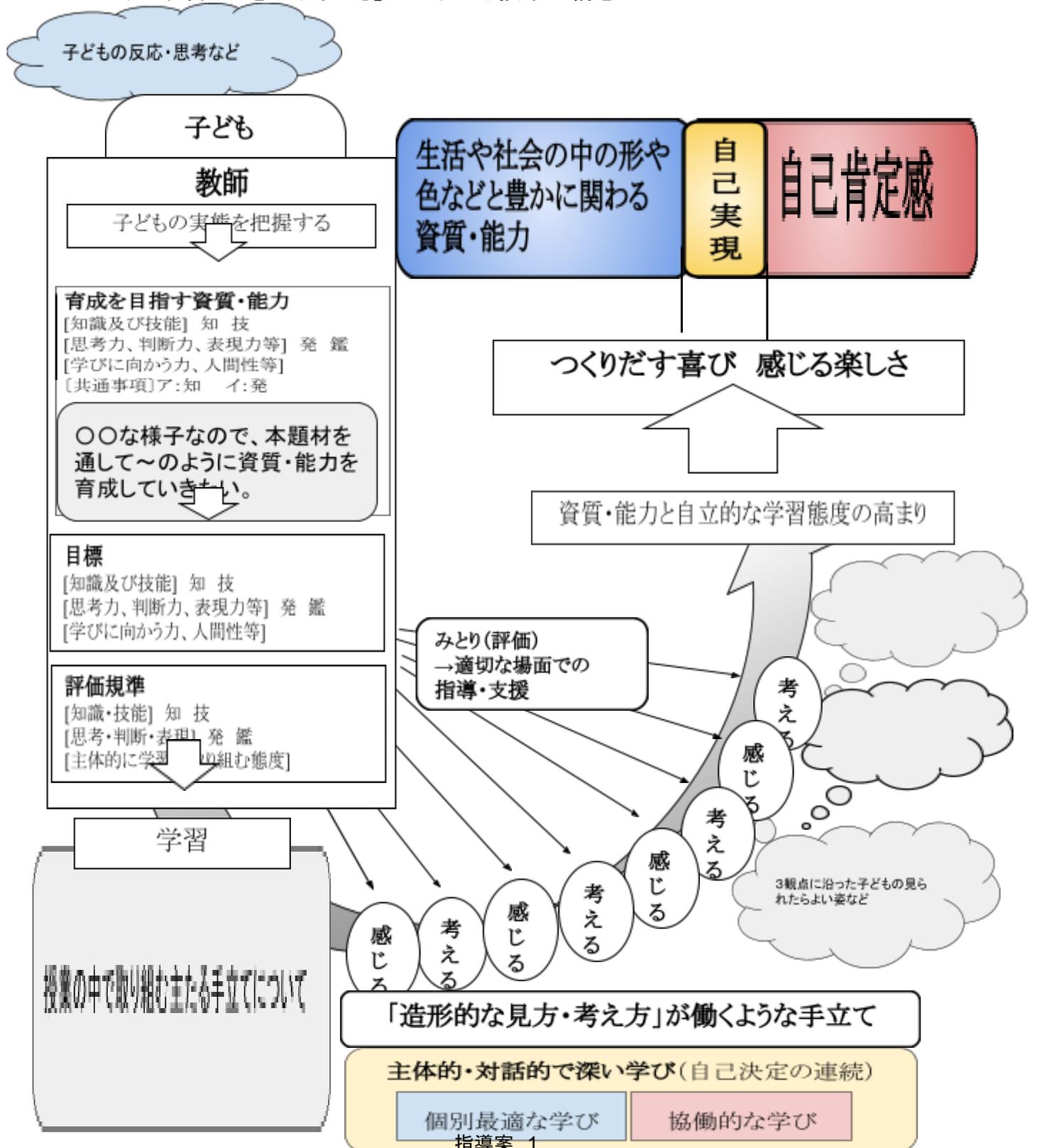


第○学年○組 図画工作科学習指導案

A表現 造形あそびをする活動 絵に表す、立体に表す、工作に表す活動
 B鑑賞 鑑賞の活動
 から該当する領域を示す。

指導者 川崎市立○○小学校
 ○○ ○○

1. 題材名 「○○○○○○○○○○」 A表現（絵に表す活動） ○時間扱い
2. 「つくりだす喜び 感じる楽しさ」につながる授業の構想



3. 活動場所 図工室

4. 題材観

(1)子どもたちの実態
.....

(2)題材と育成を目指す資質・能力
.....

R5年度提案① 指導案項目の順序入れ替え
→授業構想図の流れに合わせる形に変更したいです。
「造形的な見方・考え方」が働くような手立てを後ろへ

[知識及び技能]
[思考力、判断力、表現力等]
[学びに向かう力、人間性等] は、それぞれ、関係しあって高められていくものとされる。
本題材を行うことで、どのように資質・能力が高められると期待されるか書けるとよい。

R5年度提案② 各学年の目標を削除
→新指導要領も改定から時間が経ち、馴染みが出てきたように思います。指導案の情報量が多い気がするので削除できたらと思いますが、まだ必要感が強いようなら引き続き掲載します。

5. 題材の目標

(1)知識及び技能に関する題材の目標

-理解する。(知識)
-表す。(技能)

(2)思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

-考える。(発想や構想に関する資質・能力)
-見方や感じ方を広げる。(深める。*5・6年)(鑑賞に関する資質・能力)

(3)学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

- (低)楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
- (中)進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
- (高)主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。

6. 題材の評価規準 ～ 3つの観点から育てたい力を考える ～

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 自分の感覚や行為を通して、.....(形や色)のバランスや特徴を理解している。</p> <p>技の扱いに十分慣れるとともに、手や体全体の感覚を働かせ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。</p>	<p>発(形や色)などをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことをみつけることや.....、どのように表すか考えている。</p> <p>鑑 自分や友達の商品などから造形的な面白さや楽しさについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方・感じ方を深めている。</p>	<p>主 つくりだす喜びを味わい、楽しく水墨で表したり、友達の作品を鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>*表現と鑑賞の場面で2つにわけられることもある。</p>

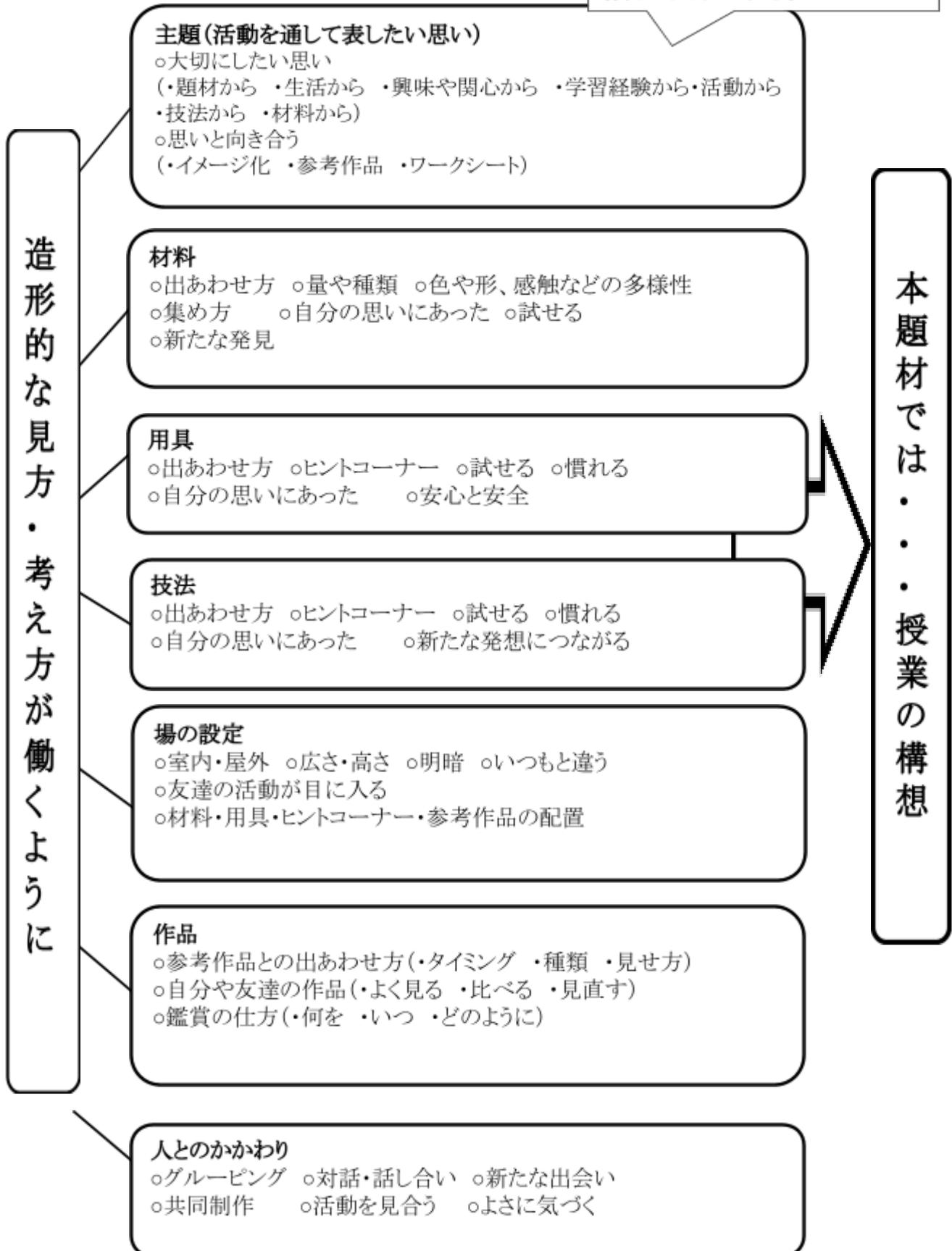
7. 「造形的な見方・考え方」が働くような手立て

(1) 手立ての視点

「造形的な見方・考え方」を働かせながら、

1. 主題・材料・表現方法と関わるができるようにするために・・・
2. 作品をつくったりみたりできるようにするために・・・
3. 生活に活かせるようにするために・・・

必要に応じて追記してよい。その場合は太字にする。



(2) 本題材における、造形的な見方・考え方が働くような手立て

- ○○○○○○○○
.....
.....。
- ○○○○○○○○
.....
.....。
- ○○○○○○○○
.....
.....

• ○○○○の部分に、キーワードを書く(簡潔に)。
• 改行した.....の部分に、手立てについて具体的に記述する。
→その際、
・(手立て)することで、()をより感じることができるようにする。
・(手立て)することで、()をより考えることができるようにする。
というように記述することを心がけ、「感じる」「考える」場面をどのようにつくっていくのか、指導者も参観者もイメージできるようにする。
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」に向けて留意する点について、積極的に記述するようにする。

R5年度提案③

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す視点から大切にしたい点や留意すべき点について記述するようにする。

8. 準備

[教師] ○○○○、○○○、○○○○○、○○○○○

[子ども] ○○○○、○○○、○○○○○

10. 本時の活動(○/○時間 45分)

(I) 本時の目標

本時の目標は、特に育てたい力を記述する。
(必ずしも全ての観点を入れなくてもよい。)

○「10. 指導と評価計画」の本時を
より具体的に書くことで本時案とする。
1時間扱いの場合は、
○「10. 指導と評価計画(本時)」とする。

(1) 知識及び技能に関する題材の目標

-理解する。(知識)
-表す。(技能)

(2) 思考力、判断力、表現力等に関する題材の目標

-考える。(発想や構想に関する資質・能力)
-見方・考え方を広げる。(鑑賞に関する資質・能力)

(3) 学びに向かう力、人間性等に関する題材の目標

- (低) 楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする態度を養う。
 - (中) 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
 - (高) 主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。
- (* 下線部は、児童による個人内評価へ)

(II) 本時の展開

◇子どもの活動 ・予想される子どもの反応	○教師のかかわり・手立て ◎造形的な見方・考え方が働くような手 立て	評価規準 と評価方法()
◇ . . . ◇	○ ◎ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">子どもへの投げかけ</div>	
◇ . . ◇ . . ◇ .	◎ ◎ ○ ○	技 ～表している。 (活動・作品)